

韓国環境部 2020年8月15日 プレスリリース

江原道麟蹄郡の野生イノシシから ASF ウイルスを検出

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1391255&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

○環境部(長官ジョミョンレ)は江原道(カンウオンド)麟蹄郡(インジェグン)麟蹄邑(インジェウプ)加兒里広域フェンス内で発見された野生イノシシ死体1個体から ASF ウイルスが14日に検出されたと15日明らかにした。

※8月14日時点:坡州(パジュ)98件、漣川(ヨンチョン)279件、抱川(ポチョン)17件、鉄原(チョルウォン)31件、華川(ファチョン)271件、楊口(ヤング)5件、高城(コソン)4件、麟蹄(インジェ)1件 計706件発生

○今回陽性となった個体は耕作活動中の住民によって畑で発見され、麟蹄郡(インジェグン)は、野生イノシシ ASF 標準行動指針により試料を採取し、現場消毒と共に死体を処理した。

○死体発見地点は、南方限界線から16km南側の村と農耕地が分布している場所である。既存の野生イノシシ ASF 発生地点から東に20km以上離れている。

○環境部は、感染個体の存在可能性の高い南方限界線周辺地域と山岳が連結しており、発生地点北側から山岳地帯を通じ、個体間伝播により ASF が拡散したものと推定している。

○今後、発見地点周辺の死体搜索、環境調査等を通じ、具体的な伝播経路を解明する予定。

○環境部は麟蹄郡(インジェグン)で野生イノシシ ASF が初めて発したことを受け、フェンス設置など周辺地域での拡散遮断のための措置を推進する。

○第一に、感染野生イノシシの移動を遮断するために発見地点周辺を囲む2次フェンスを麟蹄郡(インジェグン)と協力して迅速に設置し、既存広域フェンスに対しても瑕疵の有無、出入り口開閉状態などを直ちに点検する。特に、集中降雨で浸水被害があった麟蹄郡(インジェグン)、昭陽江(ソヤンガン)広域フェンス区間は臨時補強した部分を最優先で完全復旧するなど南地域での遮断状態を維持・強化する計画。

○第二に、感染範囲を確認するため、楊口郡(ヤンググン)と麟蹄郡(インジェグン)における死体搜索活動のための人員20人を投入し、集中搜索を実施する。

○第三に、猟犬を使った狩猟は感染拡散を加速させる恐れがあるため、猟犬を伴った銃器捕獲を中断する。箱罾やくり罾を集中設置し、個体数を減少させる。

○最後に、麟蹄邑加兒里周辺の河川に浮遊する死体などの予察を強化し、環境試料に対する調査も実施する。

□農林畜産食品部は、今回の麟蹄(インジェ)発生地点から半径 10k m 内の楊口に位置する養豚農家 1 戸に対して移動制限と精密検査を実施し、毎日の電話予察、農場周辺道路・進入路の消毒等、管理を強化する。

○また、国防部と協力して楊口郡(ヤンググン)非武装地帯(DMZ)通門と民間制限線警戒所の出入り車両・人に対する消毒を継続する。

□環境部は、野生イノシシ死体発見時は、接近せず、地方自治体に迅速に申告し、発生地域近隣山地とフェンス内出入りを自制するよう呼び掛けた。

以上